

1 調査日 令和5年9月11日（月）

2 調査の概要

(1) 近江富士花緑公園（野洲市三上）

現在、森林環境を取り巻く課題として、特定外来生物や有害鳥獣の「増えすぎ」や希少野生動植物の「減りすぎ」などから、生物の多様性確保が求められるとともに、木育や森林環境学習の実施を通じて、次代の森林・林業を担う人材育成を行うことが急務となっている。

滋賀県では、生物多様性を保全し、森林の多面的機能を持続的に発揮させていくために、間伐等の適切な森林の整備および再造林による森林の適正な更新を行い、多様な動植物が生息する水源の森林づくりに取り組んでいるほか、次世代の森林保全の担い手創出や、少しでも子供たちに木に触れる機会を創出するための木育を進めているところである。

中でも、近江富士花緑公園では、公園内に宿泊や飲食できる施設を備えるとともに、林業普及センターにおいて林業を担う人材育成や滋賀もりづくりアカデミーの拠点として森林環境学習が実施されているなど、次代を担う青少年や県民の方々と森づくりを繋ぐ拠点として公園管理を行っているところである。

そこで、近江富士花緑公園の管理の現状や木育の取組について、今後の森林行政等の検討に係る委員会審議の参考とするべく、調査を行った。



(2) 農業技術振興センター 茶業指導所（甲賀市水口町水口）

滋賀県では、地球環境にやさしい日本一の環境保全型農業による、持続的で生産性の高い「儲かる」農業の実現を目指しており、生産力を最大限に引き出すための新たな作物や栽培技術等を積極的に普及することで、需要の変化に柔軟に対応し、新規需要の開拓につながる滋賀の特色ある農産物の生産を推進している。

そうした中で、農業技術振興センター茶業指導所では、環境こだわり農業の栽培基準よりもさらに化学肥料・化学合成農薬を削減する農法であるオーガニック栽培により、オーガニック茶の生産研究をするとともに、オーガニック茶の普及、指導のため茶業関係組織や団体と連携した研修会の開催や、農業大学校の茶専攻生の教育など新規就農者支援を行っている。

そこで、農業技術振興センター茶業指導所の各事業について、今後の農業施策の検討に係る委員会審議の参考とするべく調査を行った。

